

アサヒ飲料株式会社北陸工場の「企業の森づくり活動」が行われました！

令和3年9月25日（土）、黒部市宇奈月町下立滝ヶ平地内において、アサヒ飲料株式会社北陸工場の「第5回 森づくり活動」が行われました。

アサヒ飲料株式会社北陸工場では、黒部川扇状地からの伏流水を使用し飲料を製造していることから、平成29年度より水源地保全のための森づくり活動に取り組んでおられます。

植樹当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、規模を縮小して開催し、社員、下立財産区、黒部市、新川森林組合、新川農林振興センターの18名により、クリの苗木50本の新植と補植を行いました。

参加者の皆さんは、掘った土とバーク堆肥を丁寧に混ぜ合わせ、大きく育ち立派な実がなるようお願いを込めておられました。

さらに今年度は、植栽地を眺められる場所にアサヒ飲料から「テーブル・ベンチ」が贈呈され、その贈呈式も併せて行われました。

植樹活動後、これまでの取り組みとその成果を確認するため、植栽地を参加者全員で巡り、大きく育った木々や実をつけたクリを確認すると、笑顔がたくさんこぼれました。

また、この森づくり活動と連携し下立財産区が取り組んでいる森林浴の森づくりも視察し、周辺一帯の森づくりが着実に進んでいることが体感できました。

新川農林振興センターでは、水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりを推進するため、引き続き「企業の森づくり活動」を支援してまいります。



贈呈されたテーブル・ベンチの前で記念撮影



植樹活動の様子



丁寧に植え付けを行いました



これまでの植栽地の状況を確認しました



植栽木が背丈を超えるまでに成長しました



贈呈されたテーブルとベンチ



収穫したクリの実